

報道関係各位

2024年5月16日
株式会社インテージリアルワールド

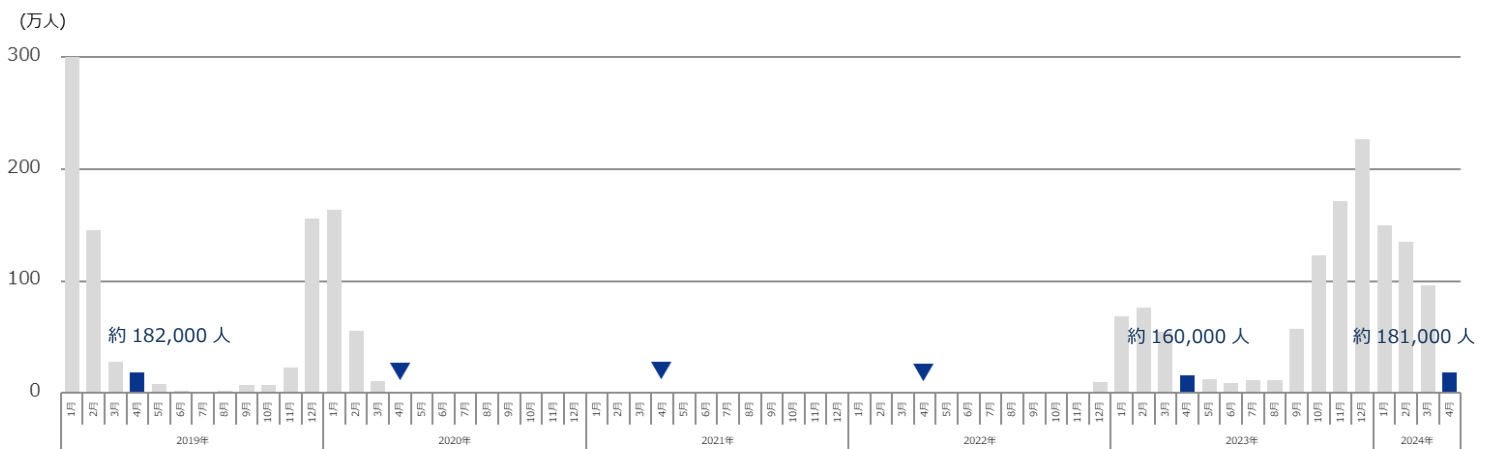
4月のインフルエンザ治療薬処方患者数は約18万人 4月最終週の患者数は昨シーズンの流行開始以降最少に

医療情報分析サービスを手がける株式会社インテージリアルワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章）は、独自に運用する統合医療データベース Cross Fact の2024年4月データを基に、医療用医薬品の処方動向を調査・分析しました。

コロナ禍以降最大の流行となったインフルエンザ 2023/2024 シーズンですが、12月をピークに患者数の減少が続いています。このままインフルエンザは収束に向かうのでしょうか。今月も前回に続きインフルエンザについて治療薬の処方状況を追っていきます。

2024年4月の経口インフルエンザ治療薬の推計処方患者数は約181,000人となり、前年同月(2023年4月 約160,000人)とほぼ同水準となりました。例年と比較し流行のピークが早く、患者数の減少も穏やかであった2023/2024 シーズンですが、3月から4月にかけて大きく患者数が減少し(2024年3月約950,000人)、流行の収束が近づいているようです。しかし、2019年は4月に今年と同水準まで患者数が減少したのち流行が収束していますが、2023年はその後患者数の減少が鈍化し、流行が収束することなく次のシーズンを迎えています。2023/2024 シーズンは流行収束を迎えることが出来るのでしょうか。

■インフルエンザ治療薬 推計処方患者数推移（2019年1月以降）

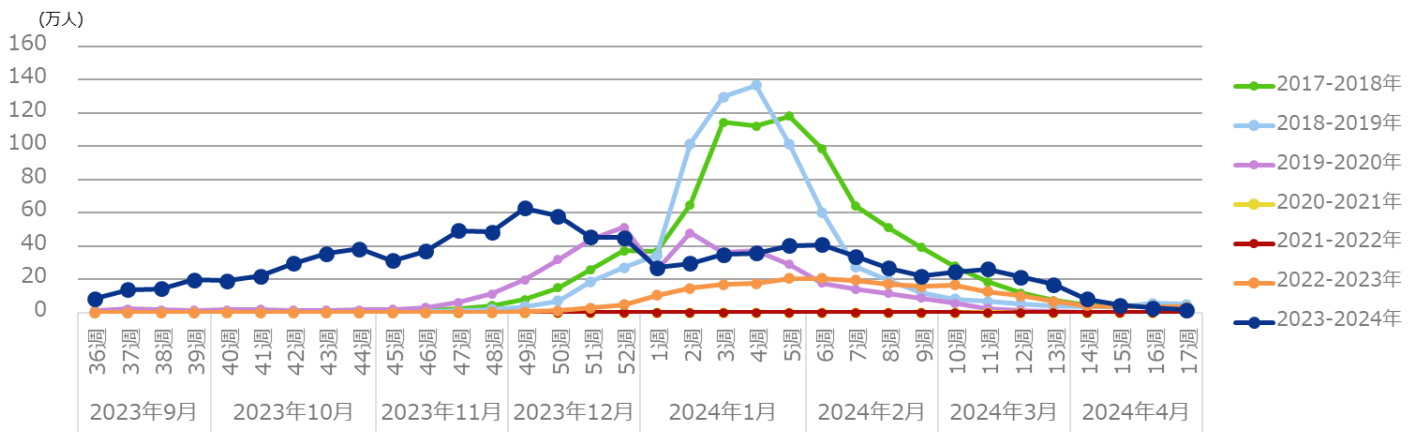


出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、パロキサビルを処方された患者を対象として分析

続いてインフルエンザ治療薬処方患者数を週次で見えます。コロナ禍前は1月～2月頃に大きく患者が増加しピークを迎えた後、数週間で患者数が落ち着くという動きを見せていましたが、今シーズンは12月にピークを迎えた後、増減を2度繰り返して4月に患者が大きく減少しています。明確な流行と収束が見えていたコロナ禍前の動きよりは、ピーク時の患者数も少なくなだらかに患者数が減っていった2022/2023シーズンに近い動きをしているように見受けられます。直近2024年17週の週次患者数は約18,000人と昨年と比べても低い水準まで落ちてきていますが、5月以降も患者数の減少が続くか気になるところです。

■インフルエンザ治療薬 週別推計処方患者数



出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、パロキサビルを処方された患者を対象として分析

2024年17週の患者数は、2022年12月のインフルエンザ流行開始以降最も少なくなりました。このまま2シーズンぶりの流行収束となるのか、それとも昨シーズン同様流行が収束することなく次シーズンを迎えるのか、インテージリアルワールドでは今後も感染症の動きを医療用医薬品の「処方」で捉え、発信して参ります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社インテージリアルワールド ソリューション企画部 鹿島田

Eメール: pr-irw@intage.com Tel:03-5294-5990

株式会社インテージリアルワールド 会社概要

会社名 : 株式会社インテージリアルワールド

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005 年 7 月 14 日

資本金 : 1 億 8,825 万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

事業内容 :

株式会社インテージリアルワールドは、国内最大級の医療リアルワールドデータベースを運用するリーディングカンパニーです。設立以来、「医療消費者」視点を重視し培ってきた医療リアルワールドデータの知識や分析・加工技術を基に、マーケティングデータや研究用データを製薬企業や研究機関へ提供しています。2020 年 7 月、インテージグループ内ヘルスケアセグメント事業会社から医療リアルワールドデータを当社に集約。それらを活用して新たなソリューションを開発し、よりタイムリーに多様な職種の方々に直接お届けしていくことで、医療リアルワールド業界のファストブランドを目指します。

URL : <https://www.intage-realworld.co.jp/>